

17 中国 黒龍江省三江平原 商品穀物基地開発計画(1)(2)

三江平原の農業生産性
高付加価値の食料生産に貢献

承諾額／実行額 177億200万円／176億8,600万円
 借款契約調印 1996年12月／1997年9月
 借款契約条件 金利2.3%、返済30年(うち据置10年)、
 一般アンタイド
 貸付完了 2002年4月／2003年4月
 実施機関 中国輸出銀行 URL: <http://English.eximbank.gov.cn/>

本事業の目的

中国輸出銀行を介したツーステップローンの枠組みで、黒龍江農懇区商品糧基地建設項目計画の中のサブプロジェクトに資金供給を行うことにより、中低生産田の改良を行うほか、食糧生産品の高付加価値化を図り、中国の食糧安全保障の確保、地域所得格差是正に寄与することを目的とする。

本事業実施による効果(有効性・インパクト) **a**

事業対象地域では新規開墾による環境への影響を避けるべく、既存の農地の生産性向上がはかられた。2000年から2005年にかけて作付面積は約5%の伸びとなっているのに対し、食料生産量(重量ベース)は約14%の伸びとなった。また、三江平原は厳冬により年間の営農期間が短い、機械化によって収穫を効率的に行えるようになったことも農業生産性向上に寄与している。中国の穀物生産が過去10年間において横ばいとなる中で、黒龍江省が中国全体の穀物生産に占める割合は1995年の5.47%から2005年には6.39%に上昇している。本事業は中国の穀物生産の下支え役として重要な役割を果たしている。よって、本事業の実施により概ね計画通りの効果発現がみられ、有効性は高い。

本事業実施と国家計画等との整合性(妥当性) **a**

本事業の実施は審査時および事後評価時ともに、国家計画と合致しており、事業実施の妥当性はきわめて高い。黒龍江

省は中国の食料増産計画において重要な位置を占めており、国内の所得格差是正の点からも農業生産性の向上へのニーズは高い。

事業実施の経済性(効率性) **b**

本事業は、事業費については計画を下回ったものの、期間が計画を上回った(計画比127%)ため、効率性についての評価は中程度と判断される。事業遅延のおもな要因としては、環境モニタリング体制整備のために調整を要したことが挙げられる。

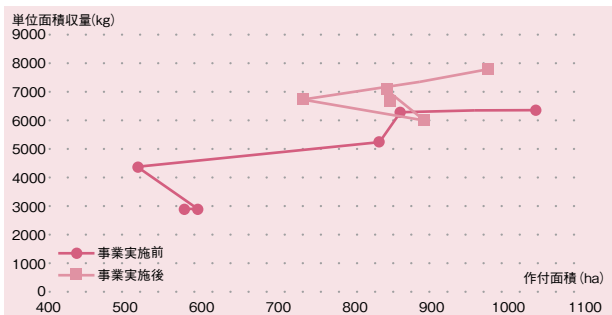
今後の展望(持続性) **a**

本事業は、地下水灌漑の長期的な持続性のため慎重な水資源管理が課題となっているものの、持続性は概ね問題ないと判断される。サブプロジェクトを実施した黒龍江省農墾総局は農業統計の収集を行っており、事業効果をモニタリングする体制を整えている。

結論と教訓・提言

以上により、本事業の評価は高いといえる。三江平原全体を統括する環境モニタリング体制を構築すること、また長期的には地下水位の低下が懸念され、地表水を利用した農業に転換することが望ましい。

農業生産性の向上



本事業の実施後、作付面積には大きな変化は見られないが、単収(作付面積あたりの収穫量)は事業実施前に比べ高い水準で安定している。

開発途上国専門家の意見

生産性の低い地域で実施された本事業は、食糧の安全保障・地域格差是正の観点から妥当性が高い。生産性、生産量とも著しい伸びを示し、住民の所得向上にも貢献している。

専門家の氏名: Mr. Zhang Tonglin (張 同林) (学者)
 遼寧大学経済学部卒業。筑波大学農学博士。国家食糧管理局食糧研究センター勤務の後、現在は上海社会科学院農村および農業研究センター主任。専門は農学、農業経済。